

みんな

よくなれ

令和四年四月八日発行

29 回生通信
第 1 号

三年後のおめでどうに向けて

学年主任 川井 勝司

ご入学、おめでどうございます。
みなさんは附属高校の 29 回生です。29 回生の学年団には、一五三名の仲間と、七名の教師がいます。私たち教師は、今日の入学式を心待ちにしています。これからみなさんと一緒に勉強や行事を生活の三年間を、このテクノの丘で充実して過ごしてほしいと思っております。
さて、附属高校には、たくさんの魅力があります。自然もその魅力の一つです。テクノの自然はとも美しく、季節ごとに豊かです。今、テクノでは 29 回生の入学を待っていたかのように、桜が満開を迎えています。桜が終わると、街路樹のケヤキが薄緑の葉で覆われます。そのころになると、山々は新緑に包まれて、とても鮮やかになります。秋には紅葉で山々が染まります。冬になると、山も校舎も一面の銀世界になります。みなさんは、この美しい自然のなかで三年間を過ごします。豊かな自然の中で過ごす高校生活が、伸びやかで健やかであってほしい、そう切に願います。
およそ三週間前に、中学校の卒業式がありました。中学校での学びを終えて、今日、高校に入学したみなさんは、成長期の階段を順調に上っています。今日の入学式には、多くの保護者が出席されました。中学校の卒業式にも同じよう出席されたことと思います。みなさんは、たくさんの方々のおかげで今日の入学式を迎えています。多くの方々から祝福を受けたことでしょうし、ご祝儀などももらったことと思います。卒業式や入学式は、大変おめでたいことで、みなさん自身の喜びではありませんが、同じように保護者の方々にとっても大きな喜びです。みなさんは、たくさんの祝福を受けていることを忘れず、これからの高校生活を大切に過ごしてください。同時に、充実して過ごさなければなりません。そういう責任もあると思います。
附属高校に入学して良かったか、良くなかったか。附属高校を選んだで良かったか、正しくなかったか。その答えは、三年後に分かります。答えを出すのは、皆さん自身です。三年間を充実して過ごすことができれば、附属高校で良かったと思えます。一五三名のみなさんには、全員がそう思える高校生活を送っていただきたいと思えます。そのためは、しんどいことから逃げたいと思いません。一つひとつ乗り越えていきましよう。つらい時や、苦しい時もあるでしょうが、その経験を糧にすることで成長につなげましよう。
そうすれば、三年後には、今よりもっと大きな祝福を受けているみなさんがいます。そのとき、みなさんは附属高校で良かったと思っ

学年団の紹介

- | | | |
|-----|--------|--------|
| 主任 | 川井 勝司 | (国語) |
| 副主任 | 吉峯 旬作 | (英語) |
| 一組 | 枝澤 由樹 | (理科) |
| 二組 | 田中 亜弥 | (国語) |
| 三組 | 辻 芙夕希 | (英語) |
| 四組 | 吉峯 旬作 | (英語) |
| 五組 | 中島 健太郎 | (数学) |
| 副担任 | 中野 雅志 | (地歴公民) |
- よろしくお願ひします。

自分を育てるのは自分

副担任 (四組担任) 吉峯 旬作

はじめまして、四組担任の吉峯旬作(よしみなね・しゅんさく)です。教科は英語、部活はバスケットボールを担当します。学年の行事ではカメラ係です。よろしくお願ひします。
ところで、日本人の平均寿命はまだ 72 才ぐらいだったころ(今は 80 才を優に超えていますので、昔前のごとく)、ある学校の先生が子どもたちにごう言つたらしいのです。「自分の歳を 3 で割ってごらん」と。
この学年通信を読んでいるみなさんも、自分の歳を割ってみてください。僕は 33 歳なので、33 割る 3 で 11。さて、この 11 が持つ意味は何なのか。その先生は次のように続けました。「人生 72 年を一日 24 時間に当てはめてみましょう。36 歳がお昼、72 歳が深夜、一日の終わりです」。
僕は 11 時のところを生きていることになります。もうすぐお昼。まだまだ午前中だと思つていましたが、一日の折り返し地点が見えてきています。一日のうち、いちばん活発な時かもしれない。しかも、午後からは眠たくなる自分の習性からすると、今がんばらないとがらばらるんや、という時間帯です。
みんなはどうですか。夜がそろそろ明けるころ、東の空が白み始めたころでしょうか。午前 0 時に生まれたみんなは、これまでは布団の中だったかもしれません。これから始まる一日の用意は、周りの大人がしてくれていかかもしれません。
しかし、です。もう太陽は登ろうとしています。布団から出て、一歩踏み出すも踏み出さないも、自分次第です。これまでの成功体験も失敗体験も、一旦忘れよう。すべては夢の中でのお出来事です。勉強が苦手なら、心を磨こう。それも嫌ならスポーツに打ち込もう。やっぱり逃げるのは嫌なら、勉強に向き合おう。どれか一つでいい。他の人が見逃すような些細な物事に、身命を賭して取り組む者に、太陽は降り注ぎます。自分なりのやり方で OK!! 自分を育てるのは自分です。
学年団の七人の先生は、そんなみんなを援護するサポーターです。優しくするとか、甘やかす、という意味ではありません。厳しい言葉はかけることもありません。難しいことは一緒に考えます。倒れそうなきときは支えます。困ったときは相談して下さい。



学年団 前列 川井 枝澤 田中 辻 後列 吉峯 中島 中野

まずは「あいさつ」から始めよう

一組担任 枝澤 由樹

新入生の皆さん、附属高校へのご入学おめでどうございます。一組担任の枝澤由樹(えだざわよしき)と言います。担当は理科です。これからよろしくお願ひします。皆さんはいよいよ、この春から高校生になりました。附属高校では、いろんな地域から通う友人がたくさん出会えます。また、授業や学校行事なども特色があり、人として大きく成長できる環境が整っています。そして、本校にはどこで会っても、先生にも友人にも自分から「あいさつ」のできる先輩たちが多くいます。君たちも、まずはあいさつを習慣にしてください。新しい環境に、期待も不安もあるかと思うので、一つのアドバイスです。それだけと思うかもしれませんが、必ず良い変化があなたにも訪れます。それは円滑な人間関係の基本だからです。

さて、皆さんはこの三年間をどう過ごしますか。卒業のとき、そして将来はどんな自分になりたいですか。いろんな経験を通して、高校で何をどう学ぶのかは自分次第。目標を持ち、一日の時間を大切に過ごしながら、共に学んでいきましよう。高校ではこれまで以上に、自分の言葉や行動に責任を持って、生活することも求められます。自分も周りの人も大切にできる、自律した 29 回生であってほしいと願っています。辛い時やしんどいときもあるでしょうが、それはきつと君たちが自身と向き合い、大きく成長しているときだと信じています。そんなときに君たちを支えられるように私も一緒にがんばります。

挑戦

二組担任 田中 亜弥

入学おめでどうございます!二組担任の田中です。国語を担当します。これから新しい環境下で、どのような高校生活を送ることができるのか、期待と不安が胸がいっぱいになっていくことと思います。あなたは、どのような高校生になりたいですか?どんな姿で卒業の日を迎えたいですか?まだ入学したばかりで、そんな先のことをイメージできないという人もいるかもしれません。しかし、十八歳で「成人」と見なされる今、残された三年間という短い期間の中で「大人」になっていくには、具体的な「目標・夢」を掲げて行動していくことが不可欠だと思います。そこで、皆さんにはこれから「勉強」「部活動」「資格取得」「家事」など、何か一つでも多くのことに「挑戦」して欲しいと思います。今までは義務教育で、先生が丁寧に準備を重ね与えられるものを吸収すれば良かったのですが(させられるとも言いますが)、高校ではそうはいきません。「馬を水辺に連れて行くことはできるが、水を飲ませることはできない」という諺もあるように、私たちは成長に繋がる環境を整えることはできませんが、そこから自分の成長に結びつけられるかは主体的に学ぼうとし、行動できるかどうかです。皆さんは自ら選んで附属高校に進学し人となつて旅立つのかはこれからの取り組み次第!可能性は無量大です。夢は大きく、失敗を恐れず一緒に多くのことに挑戦していきましよう。



自分のために

三組担任 辻 芙夕希

29 回生の皆さん、ご入学おめでとうございます。義務教育が終わり、いよいよ本格的に自分の未来を創っていく期間へと突入しました。皆さんはどのような思いを抱いて本校に進学されたのでしょうか。自分自身のことを振り返ると、高校時代の私には「良い大学に行きたい」という漠然とした考えしかありませんでした。目標を『そこそこ良い大学への進学』と設定した私は、高一の春からそれ相応の勉強に励みました。間違いなく机に向かった時間は人生で最も長かったです。ある程度結果はついてきました。しかし、二年生になっても、いよいよ受験生になっても、いつまで経っても『そこそこ良い大学』がどこを指すか、将来何がやりたいかという具体性をもていませんでした。

結局、このことが後にモチベーション急降下へとつながります。周囲が部活動を引退し一斉に勉強を開始する中、夢を全く描けていなかった私は以前のように勉強に身が入らなくなり失速することに。この後、私が皆さんと出逢う今日までにどんな人生を歩んできたかは機会があればお話しするとして、この経験から私が言いたいことはひとつ、『自己を発見し、自分のために動こう』。皆さんには可能性があります。誰のためでもない。自分のために行動してください。この学校で活用できるものはすべて活用し、勉強以外にも全力で！何事にもとりあえず挑戦してみても好きなもの／ことを見つけ、自分が何に関心があるのかを知り人生をさらに豊かにしてください。

失敗も前進

五組担任 中島 健太郎

【出身】養父市 くまモンよりかわいいやつぷーというゆるキャラがいます。
 【教科】数 学 高校時代は社会の方が好きでした。数学について興味を持ったのは大学生。
 【好きなこと】 紅茶(とスコーン)、体を動かすこと etc

中島(なかしま)です。いよいよ高校生活のスタートですね。私も高校時代を思い出しみると、授業、行事、友達との楽しい時間・あらかゆる風景を思い出すことができます。それだけ自分の人生の中でも濃い時間でした。ただ、私もそうでしたが、悩みが尽きないのもこの高校の三年間です。勉強がわからない、友達とうまくいかない、進路についてどうしようかというところだと思います。私から言えることは、失敗してもいいから行動してほしいということです。楽な道ばかり選んでいると、それ以外選択できなくなりますが、皆さんの挑戦をして(失敗をして)、たくさん耐えて、どんな道でも進んでいける視野の広さと体力をぜひこの高校生活で身につけてください。失敗しても、それは成功に向けて前進できているということ！勉強も大事、勉強以外にも大事。すべての経験が未来の自分の助けになると信じて、
 ・今！
 ・今は期待と不安でいっぱいだと思いますが、少しずつでも慣れていきます。焦らず、目の前のことを一つずつしていきましょう。私も皆さんと一緒に歩みを進めていきますので、この一年間よろしくお願います。

「やります、できます」

副担任 中野 雅志

みなさんご入学おめでとうございます。初めまして。副担任の中野雅志(なかのまさし)です。地理歴史公民を担当します。一年間よろしくお願います。これから始まる高校生活をどう思い描いていますか。
 先日(三月二十五日)の朝日新聞「天声人語」がとても印象に残っています。『「タツツの壁」という言葉を先日、初めて耳にした。スマホの画面を指先でタップする(軽くたたく)コツが掴めずスマホを敬遠してしまうことをいう。』これを読んで、どのような人を思い浮かべましたか。今年度から一人一台端末でタブレットを片手に授業を受けていきます。さらに新課程で新科目に取り組むので、正直手探りの状態です。しかし、敬遠してしまふと成長はありません。みなさんとともに学びながら、一緒に成長してきたいと思っています。一八歳で成人年齢となる今、大人とともに学ぶというところが大切なのではないか、とも思っています。
 部活などで、やったことのないポジションを任せられるとき、「できません」と言うとチャンス逃してしまいます。みんなにはそんなもったいないことをしてほしくないのです。なんでも前向きに取り組んでほしいなと思っています。とりあえずやってみる。できるまで考え、取り組む。今年度、私はみんなと、「やります、できます！」でやってみていきたいと思っています。

附属のいいところ紹介

高大連携授業

附属高校には、高大連携授業というのがあります。高校と大学が連携して行う授業で、各学年で年間四回ずつほど行われます。兵庫県立大学各学部の先生方が高校に来てくださる場合と、附属高校の生徒が大学を訪問する場合とがあります。

私たち、29 回生の第一回高大連携授業は、四月一五日(金)に行われます。兵庫県立大学の副学長である樋口芳樹先生のお話を聞きます。場所は、先端科学技術支援センターで行われます。先端科学技術支援センターは、理学部の隣にある建物です。五時間目が終わると、歩いて先端科学技術センターに行きます。黎明寮へ行く道の途中にありますので、ゆっくり歩いても二〇分くらいのもので、副学長先生のお話を聞くことで、あらためて、附属高校に入学したことを実感することになります。

第二回は、四月二二日(金)に行われます。講師の先生は、環境人間学部の竹内和雄先生です。竹内先生は、テレビや新聞にも良く出ていらつしやる、とても有名な先生です。SNS の利用について、話してください。

みなさんの中には、高校生になってスマホを持ち始めた人も多いと思いますので、便利さの裏にある危険についてしっかり学びましょう。次号の「みんなよくなれ」には、高大連携授業を受けたみなさんの感想を掲載します。



4 月の行事予定 (1 年生関連)

- 8 日(金) 入学式
- 1 1 日(月) ①離任式・対面式
②オリエンテーション
③〃
④LHR
昼休み 芸術教科書販売
⑤身体測定・写真撮影
⑥〃
- 1 2 日(火) ①課題考査(国語)
②課題考査(英語)
③課題考査(数学)
④課題考査(理科)
⑤課題考査(地歴公民)
⑥部活動紹介・学年集会
⑦〃
- 1 3 日(水) ①学習オリエンテーション
②〃
③以降 普通授業
- 1 4 日(木) 普通授業
耳鼻科検診・内科検診
- 1 5 日(金) 高大連携授業(1 回目)
講師 兵庫県立大学副学長
- 1 8 日(月) 心電図・胸部 X 線
- 2 2 日(金) 高大連携授業(2 回目)
講師 兵庫県大学准教授
- 2 7 日(水) 自然教室(蒜山)
- 2 8 日(木) 〃

☆☆附属の行事紹介☆☆

- 自然教室** 実施時期 4 月
4 月 2 7 日・2 8 日の両日に行われます。バスで行く 1 泊旅行です。宿泊場所は、岡山県の真庭市蒜山にあります「休暇村蒜山高原」です。他校では、オリエンテーション合宿とか、ガイダンス合宿と言った名称で行っていますが、附属高校では「1 年生自然教室」という名称で実施しています。
「自然教室」の特徴は、3 0 km ハイキングです。初日に昼食を食べると、大山(鳥取県にある 1,729 m の美しい山)の麓を 6 時間かけて歩きます。まさに自然教室です。他には、キャンプファイヤーや飯盒炊飯なども行います。高校入学後最初の行事です。寝食を共にし、クラスメイトや学年のみんなとの親睦を深めましょう。
2 7 回生と 2 8 回生の先輩方は、コロナ感染症の流行のために実施できなかった行事です。感染症対策に気をつけて、しんどいけれども楽しい、そんな自然教室にしましょう。
- 定期考査** 実施時期 5 月 7 月 1 0 月 1 2 月 3 月
年間 5 回の定期考査が行われます。附属高校は 3 学期制ではなく前期・後期制です。そのために、中間考査・期末考査という名称ではなく、第 1 回定期考査、第 2 回定期考査と呼びます。名称は違いますが、考査の回数は 3 学期制の高校と同じ 5 回です。前期の成績は、第 1 回と 2 回の定期考査と平常点によってつけられます。
多くの教科と科目では、1 年生での学習が、そのまま共通テストの出題範囲となります。早速 5 月には第 1 回の定期考査があります。
- 文化祭** 実施時期 5 月
5 月 1 2 日(午後のみ)・1 3 日の両日に行われます。例年は、3 年生が模擬店で食品販売を行っていましたが、一昨年は中止、昨年は模擬店なしでの実施となりました。文化部に入部する人にとっては、一年間を通しての最大のイベントです。
- 体育大会** 実施時期 1 0 月
1 0 月 5 日(水)に予定されています。詳細は、またお知らせします。

